

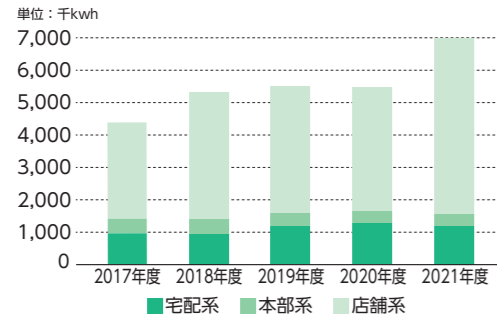
事業における環境報告

コープしがは「環境政策」に基づき、事業と活動の両面で地球温暖化防止や自然環境の保全、廃棄物の削減などの取り組みをすすめています。「環境マネジメントのシステム」を独自運用して環境管理に取り組んでいます。

● エネルギーの効率的な使用とCO₂排出量の削減

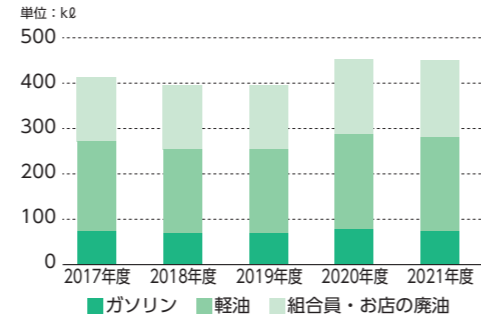
[エネルギーの効率的な使用]

■ 電気使用量



2021年度の電気使用量の目標は、コープしが全体で前年度維持を目標に取り組みました。店舗系においてコープながはま店の出店による影響が増加しました。コープながはま店を除いた実績では前年度比98.8%となりました。

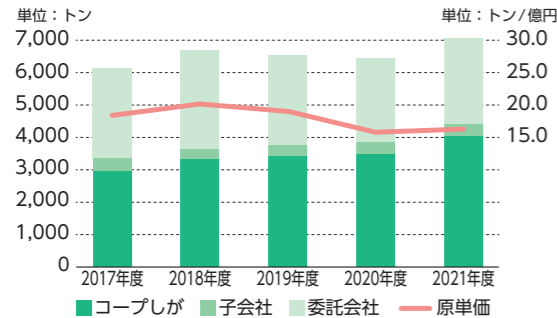
■ 車両燃料使用量



車両燃料は、ガソリンと軽油の燃費を前年度維持として取り組みましたが配送個所の増加と物量の増加により、前年比98.8%となりました。BDF燃料を5%配合した「BDF 5」の使用は101.9%になりました。

[CO₂排出量の削減の取り組み]

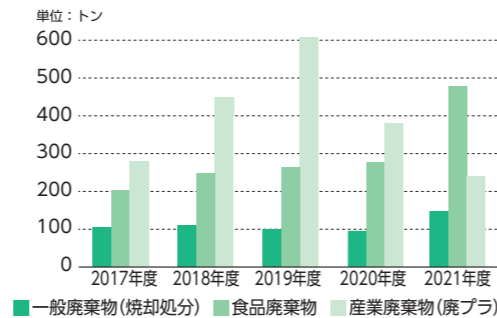
■ CO₂排出量 (組織別)



全体としては前年比110.1%と増加しました。店舗での排出量がコープながはま店の出店で138.7%と増加しています。宅配は前年比98.9%となっています。供給高1億円当たりのCO₂排出量は17.3トンとなり、前年比102.3%となりました。

[事業活動による廃棄物の削減]

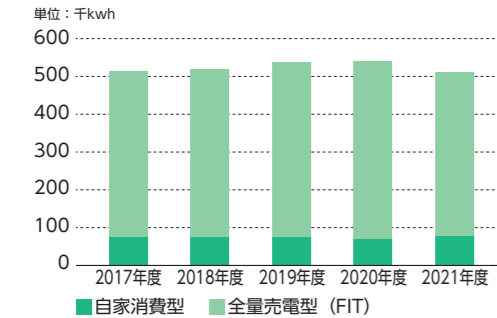
■ 廃棄物排出量



事業系の一般廃棄物は改装工事などにより廃棄量が増加しました。宅配での返品が増加して食品廃棄物が全体で増加しました。2019年度から稼働したハートコープしがの子会社による店舗の廃プラは体積計量から重量計量に変更した事業所で大きく削減できました。

[再生可能エネルギーへの取り組み]

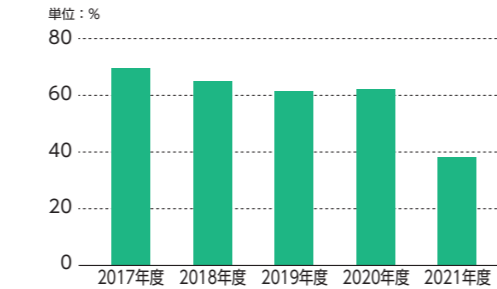
■ 太陽光発電発電量



ほぼ一定の発電量となっています。

[グリーン購入の取り組み]

■ グリーン購入率 (事務用品)



事務用紙の購入先の変更のため減少しました。

環境に配慮した商品の普及実績

エコマーク 供給高:400,458,848円(156.8%) 供給点数:1,300,230点(162.8%)	FSC® 供給高:1,202,283,649円(139.9%) 供給点数:2,468,379点(154.9%)	MSC 供給高:107,219,934円(134.8%) 供給点数:291,152点(125.6%)	ASC 供給高:3,667,852円(344.9%) 供給点数:8,428点(389.3%)
MEL 供給高:23,860,206円(90.5%) 供給点数:26,519点(46.2%)	有機JASマーク 供給高:49,871,290円(81.7%) 供給点数:150,810点(82.9%)	特別栽培農産物 供給高:62,944,714円(89.9%) 供給点数:217,248点(88.2%)	レインフォレスト・アライアンス 供給高:95,033,782円(98.7%) 供給点数:356,720点(101.8%)
CFP 供給高:71,356,172円(42.8%) 供給点数:123,081点(46.3%)	洗剤環境寄付キャンペーン 供給高:27,658,698円(73.0%) 供給点数:39,653点(76.0%)	RSPO 供給高:21,223,919円(82.1%) 供給点数:36,478点(88.8%)	スラウェシ島エビ養殖改善協力金 供給高:82,142,984円(101.8%) 供給点数:97,653点(99.1%)

()は前年比

♥ 循環型社会をめざして

*牛乳パックは、ただいまロール・おかえりティッシュに、たまごパックとペットボトルは、たまごパックにリサイクルされます。

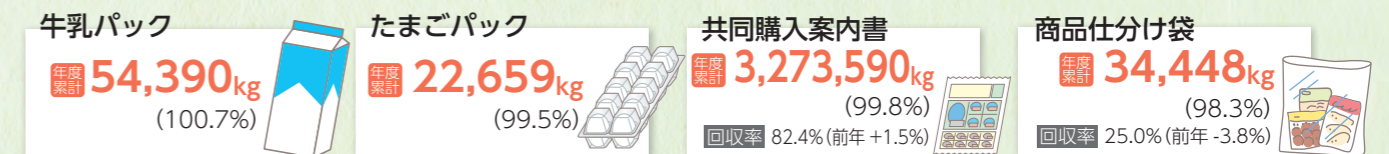
リサイクル回収実績

(2021年4月～2022年3月)

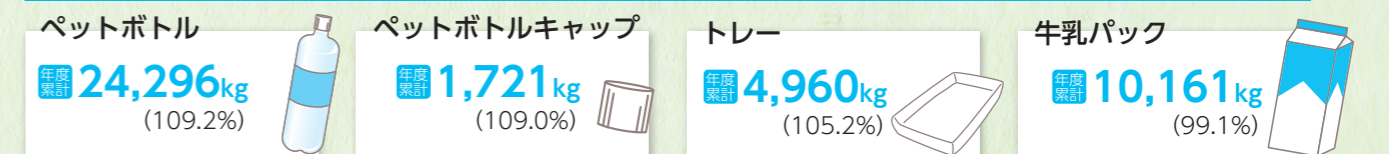
●2021年度リサイクル売却実績 **3,371万円**

*古紙の相場が下落し、買取単価が大幅に減少しました。()は前年比

宅配回収物



店舗回収物



*店舗では、2022年度より、古紙・段ボール・アルミ缶の回収をスタートします。